

令和6年度 第2回都島区区政会議 会議録

1 日時 令和6年10月29日（火）午後7時～午後8時40分

2 場所 都島区役所 3階会議室

3 出席者

（区政会議委員）

浦出委員・江川委員・岡本委員・屋宮委員・下影委員・高野委員・多田委員・谷委員・西委員・
花田委員・菱池委員・藪上委員・山野委員

（都島区役所）

藤岡区長・伊藤副区長・吉村総務課長・三井政策企画担当課長・西山政策企画担当課長・松井
まちづくり推進課長・中尾防災地域活性担当課長・世古口窓口サービス課長・坂下保健福祉課
長・清原こども教育担当課長・筒井生活支援担当課長

4 議題

- （1）部会報告（令和6年度第2回開催分）について
- （2）令和7年度事業の方向性について

5 会議次第

- （1）開会（藤岡区長挨拶）
- （2）議事

【吉村課長】

お待たせいたしました。委員の皆様には大変お忙しい中、足元のお悪い中ご出席いただきまして、ありがとうございます。

これより令和6年度第2回都島区区政会議を始めさせていただきます。

私は、本日の司会を務めさせていただきます総務課長の吉村でございます。よろしくお願いいたします。

それでは初めに、区長の藤岡よりご挨拶させていただきます。

【藤岡区長】

皆様、こんばんは。かなり秋らしい気候にようくなってきました、今日も少し冷える感じでございますので、皆さんもお気をつけてお過ごしいただければと思っております。

平素より大阪市政、そして区政の各般にわたりましてご理解と温かいご支援を賜りまして、誠にありがとうございます。

本日は、大変ご多用の中、第2回区政会議にご参加をいただきましてありがとうございます。

また、議員の先生方におかれましても、大変お忙しい中、オブザーバーとしてご参加いただきまして、ありがとうございます。

本日の区政会議では、まず、9月末に開催されましたまちづくり・魅力部会、そして、教育・子育て部会の報告を部会長からご報告をいただきまして、皆さん全員で共有し、さらにご意見を賜りたいと考えております。続いて、令和7年度事業の方向性について議論を深めてまいりたいと存じます。委員の皆様からは、事業の効果を客観的に見たご意見、そして改善点についてのご意見を頂戴できればと思っております。我々区役所の職員だけでは気づかない視点、そして新たなアイデアをお聞かせいただけると幸いです。

いただきましたご意見は、今後の区政運営をよりよいものにするための重要な指針となってまいりますので、限られた時間ではございますけれども、委員の皆様の広く深いご意見をいただき、実りある時間にいただければと考えております。

それでは、本日もどうぞよろしくお願い申し上げます。

【吉村課長】

それではここで、会議の進行につきまして、委員の皆様には2点お願いがございます。まず、議事録等の作成のため、事務局で会議の様子を録音、撮影させていただいております。また、本日の会議は、インターネット配信を行っております。以上、ご了承を賜りますようお願い申し上げます。

それでは、定足数の確認をさせていただきます。本日の会議には、委員定数18名のうち13名の方が出席されていますので、定足数を満たしておりますことをご報告申し上げます。

また、後藤委員、吉村委員、尾柳委員、石川委員・高橋委員におかれましては、本日ご欠席のご連絡をいただいておりますので、ご報告させていただきます。また、花田委員におかれましては、後ほどウェブ参加される予定でございます。

続きまして、資料の確認をさせていただきます。事前にお送りしておりました資料として、右肩に資料1と記載しております第2回各部会からの報告、右肩に資料2と記載しております令和7年度事業案について、右肩に参考資料1と記載しております令和6年度予算事業一覧、その他資料として、区政会議（全体会議）に関するアンケート、ご参加いただいている部会ごとに、区政会議（まちづくり・魅力部会）に関するアンケート、区政会議（教育・子育て部会）に関するアンケートを机上配付しております。こちらは資料送付の際、本日ご提出のお願いをさせていただきましたものでございます。本日ご持参いただいている方は、会議終了後、出口で回収させていただきます。また、ご持参いただけていない方は、お手数ではございますが、ご記入いただきますようお願い申し上げます。以上が本日の資料となります。そろっておりますでしょうか。大丈夫でしょうか。ありがとうございます。

続きまして、本日ご出席の議員の皆様をご紹介します。

大阪市会より大西議員でございます。

同じく、荒木議員でございます。

大阪市会、岡田議員、大阪府議会、魚森議員におかれましては、本日ご欠席のご連絡をいただいておりますので、ご報告させていただきます。

それでは、これより高野議長に議事運営をお願いいたします。よろしくお願いいたします。

【高野議長】

今ご指名を受けました、議長を務めます高野です。

それでは、議事を進めていきたいと思います。

では、議題（1）部会からの報告です。ご説明がありましたように、先月、9月にまちづくり・魅力部会、そして、教育・子育て部会が行われました。それを受けて、その部会の内容等がどんな意見が出たのかということを、各部会の議長より報告をさせていただきます。

ではまず、まちづくり・魅力部会から菰上部会議長にご報告をお願いします。

【菰上委員】

皆さん、こんばんは。まちづくり・魅力部会から、先日、9月24日に行われました部会のご報告をさせていただきますと思います。

9月24日のまちづくり・魅力部会では、主に2つのテーマを中心に討議をさせていただきました。お手元の資料1というところを見ていただきますと、AとBに分かれてお題を設定させていただいております。まず、Aの安全・安心のまちづくり・コミュニティ豊かなまちづくりグループにつきましては「町会加入

促進について」を今回討議をさせていただきました。Bでは、魅力あるまちづくりグループ、「水辺のにぎわいづくりについて」というお題で討議をさせていただきました。まちづくり・魅力部会に参加いただいた委員に、それぞれAとBに分かれていただきまして、それぞれの討議並びに最後に全体に、皆さん集まっていたいて、AとBの討議についてのご報告をさせていただきました。

全体をまとめたご報告の中で、まずAの安全・安心のまちづくり・コミュニティ豊かなまちづくりグループ「町会加入促進について」というところでございますが、主なご意見といたしまして、町会への加入が減少している主な要因については、やはり町会加入のメリットを感じていないであつたりとか、そもそも町会に入る方法が分かりづらいとか、あと町会費が何に使われているかが伝わっていないということがあるのではないかというご意見と、このご意見を踏まえた町会加入につながる取組については、例えば町会費を町会員の方に還元する仕組みづくりの構築であつたりとか、町会加入のメリットや加入方法について分かりやすい情報発信が必要ではないかという意見がございました。

このご意見の主な例で挙げますと、都島区は各地域に分かれておりますが、やはり個人宅が多い地域とマンションが非常に集中している地域とで町会の加入率というところが非常に大きく変わってきているということもデータとしてございました。具体的な例を挙げますと、例えば友渕地域なんかでいきますと非常にマンションが立ち並んでおりますので、やはりそういったところは町会の加入率が2割前後であります。例えば比較的マンションが少ない大東地域などでございます。やはり6割の方が加入しているというところ。そういった中で、町会に入ってもというところもありますが、やはりマンション自治会であつたりとかそういったところがしっかりとされているところは、町会の加入率が少ないのかなというところも意見として上がりました。これを踏まえて、先ほどお伝えしました町会費を還元する仕組みづくりであつたりとか、町会加入のメリットや加入方法について分かりやすい情報発信が必要ではないかというご意見となったというところでございます。

続いて、Bの魅力あるまちづくりグループ「水辺のにぎわいづくりについて」というところで、こちら資料1を確認いただきますと、主なご意見といたしまして、桜ノ宮ビーチを中心に、地元の人が遊びに行くことができ、多くの人に来てもらえる知名度のあるイベントを開催してほしい、また、情報発信もしっかりやってほしいであつたりとか、イベントを常に行えるような施設があればいいとか、あとは、エリアによってはにぎわいづくりではなく自然と調和した取組が望ましい、休憩できるように日陰やベンチ、自動販売機、カフェの設置、子どもが遊べる遊具や水遊びができる噴水を設置してほしいとか、そういった整備に関わるご意見というところが非常に出てきておりました。

一つちょっとトピックとして挙げさせていただきますと、部会の中でご意見のあった内容の中で、過去に桜ノ宮ビーチを使ってイベントを開催しましたところ、3万人ほどの来場者がいて非常に大きなイベントとなったそうですが、やはり採算性が取れないということで中止になった、翌年度以降はそのイ

ベントが開催されないというようなところがありました。その中で、やはり委員の方からも、3万人も集まって採算性が取れないというのはというところの意見とかもありましたので、こういったところもしっかりと区のほうで分析をしていただいて、効率のよいイベントを開催するということも非常に大事なことでないかなと思いました。

拙いご報告ではございましたが、一旦まちづくり・魅力部会の開催のご報告とさせていただきます。

【高野議長】

藪上部会議長、ありがとうございました。

では続いて、教育・子育て部会から江川部会議長にご報告をお願いします。

【江川委員】

皆さん、こんばんは。

教育・子育て部会は、9月26日に開催されました。内容としては、都島区の教育・子育てに関する施策の現状について説明、報告を行い、区内における教育・子育てに関するご意見などを伺いました。

実際よく知られている施策もあるんですけども、いろんな年代の子どもたちに対しての施策がいろいろあって、私たちも知らないことがあったり、いろいろそのときに聞かせてもらって勉強になったというか、知ることができたんです。やっぱり一番気になるのは、ずっと続いている小学生サポート事業が2年ごとにいろいろ変わって行って、紆余曲折していつているところです。こうじゃないかというのはいろいろ意見が出るんですけども、それはこの場合やって変わったという流れでずっと話が続いてきました。今あるいきいきとかそういうのと一緒になったらもっといいことができるんじゃないかというような話があったので、これからそういうところが教育・子育て部会で話になって、また来年以降の施策に影響して行って、いいようになっていけばいいなと、そういう話ができるかなという個人的な印象もあります。

内容として、北のほうにも子育てプラザみたいなのが欲しいとかいろんな意見もあったんですけども、予算の関係もあるので、今学校でやっている小学生のサポート事業がもっと実のあるものになったらいいなというのが皆さんの総意だと思います。

教育・子育て部会の報告はこれで終わります。

【高野議長】

ありがとうございました。以上が各部会からの報告ということでした。

では、ただいまご報告いただいた内容について、この後、質疑応答とさせていただきます。質問、あるいはご意見など、どんなことでも構いません。ある方は挙手でお願いします。挙手をいただきましたら、事務局職員がマイクをお持ちしますので、まずご自身のお名前、肩書であるとか、どの地域のまちづくり協議会の方であるということをつけてお名前を言っていただければ幸いです。そして、今日はウ

ェブ参加、花田委員にも入室いただいておりますが、花田委員におかれましては、挙手されますとこちらの画面で確認できますので、そうしましたら花田委員お願いしますと私がご指名しますので、それでマイクがオンになるということになっています。そうしますと皆様にも、今モニターのところに会議室の模様と花田委員のご発言する場合の画面が出ていますので、それで皆さんと共有できるというシステムになっています。お願いします。

では、質疑等ありましたら挙手でお願いします。

では、お名前からお願いします。

【岡本委員】

岡本といいます。

水辺のにぎわいづくりということなんですけれども、公園とか、水遊びができる公園ですね、これをきちっとつくるというのは、周りの環境にもよりますけれども、なかなか難しい。よっぽど考えてやらないと、ベンチやトイレも必要でしょうし、いろいろ我々の商店街の近辺でもホームレスみたいな方が寝泊まりしたり、特に公衆便所なんかはメンテナンスが大変なことになる。よほど考えてこれはやっぱりやらなくてはならないんじゃないかなと、このように思っております。

【高野議長】

今ご意見いただきました。それについて、何か区でこのような事業が進んでいるであるとかというようなお話がありましたらお願いいたします。

では、お願いします。

【三井課長】

失礼します。政策企画担当課長、三井でございます。座らせていただきます。

今ご意見いただきました遊具等を設置する際には、その維持管理、メンテナンスも含めて慎重に考えてやるべきということでは、言っていました。現状、特に施設整備等の予定は具体的に聞いておりませんで、現状ある施設設備、また樹木等、そういったものの維持管理になってきようかと思っております。そしてまた、新たな施設の整備等計画を把握しましたら、共有させていただきたいと思っております。

以上でございます。

【高野議長】

では続いて、ほかのご意見等ございましたら挙手でお願いします。

では、マイクを回しますので、地域と、そしてお名前の順でお願いします。

【多田委員】

東都島の多田と申します。

町会費のことなんですけれども、ここに書いていますように、町会費を会員に還元するというのはち

よつとね。町会費は我々納めるところがぎょうさんありまして、日赤やら連合やら、まだもう一件どこかあったんですけれども、その中で町会費を大分使っていくので、残ったお金はやっぱりある程度町会でためておかんと、これから災害や何やかんやあったときに、どうしても町会からやっぱり何ぽか出すという状態になると思うんです。だから、これに関しては、還元はちょっと考えられないなとは思いますが。

それともう一つ、町会加入のメリットと書いていますけれども、加入するよりも先に、まず町会の役員さん、そういう方々を集める方法が一番難しくて、役員さんが見つければ町会の会員も増やすこともできると思うんですけれども、役員になってくれる方々に対しての何かメリットを与えられる方法があったらいいなと思っております。

以上です。

【高野議長】

ありがとうございました。

今、多田委員よりいただいたご意見についてや、町会費の還元のことなど、参加されていない部会の方でも結構ですし、そしてご多忙につき欠席された方もいると思いますので、今この場でのご質問、あるいは今のご意見についてのアイデアなどありましたら、どんなことでも構いませんのでお願いします。

【藪上委員】

すみません、まちづくり・魅力部会の議長の藪上です。

今、多田委員からお話しいただいた町会費還元という話は私が出した意見なので、出した人間の一応責任として、ちょっとお話をさせていただきたいなと思います。

確かに各町会によって何に使うかとか、何に使われているかというのはやはりまちまちだと思いますので、町会で別途そういう予算を立ててもらって、例えばそういう町会費を払ってもらった人に還元を再度してくださいというような意見ではなくて、あのときに出させていただいたのが、例えば町会に入ってもらって、町会費を払ってもらって、やはりメリットを感じてもらうということは、今現状でいうとメリットを感じていない人のほうが多いと思うので、メリットを感じてもらうというために、区で何か施策をしてほしいというような意見を出させていただいたと記憶がございます。例えば、ふるさと納税で納税してもらくと、その地域にももちろんお金は入って、その自治体にもお金が入ってきますし、ふるさと納税をしてもらった人は例えば税金が安くなったりとか、そういった取組って各自治体でもやられているとは思いますが、それはあくまでも一例ではあるので、これを必ずやってくださいというわけではないんですけれども、そういった形で、町会費を払ってもらったら、やはり何かそれ以外に払ってもらっているものとか、それ以外に負担になっているものについて還元ができないかというような形の意見を出させていただいたというところでございます。

あとはよろしくお願いします。

【高野議長】

では、先に江川委員に渡しますね。

【江川委員】

私、その日休んでいたんで、ちょっと一言。一応これをテーマでもう何年もやっているんです。町会加入の。ちょっと言わせてほしいんです。その還元というのはお金で還元じゃなくて、私は東都島の防災リーダー隊長なので、一応役員をやっているんですけど、お金を払ってもらった方、町会に加入している方は、京橋、都島こどもカレー食堂の大人の300円が無料になるというのをやっています。あと、まだその形はやっていないんですけど、天王寺かどこか違うところでは、町会の方は300円で参加やけど、町会加入じゃない人は600円参加とか、そういう形で目に見える、町会に入ったら得やという形のイベントのつくり方とかで、そういう還元やったらまだ簡単にできるので、それを今実際運用はしています。東都島地区では。それだけです。

【高野議長】

ありがとうございました。

では、続いて松井まちづくり推進課長、ご発言をお願いします。

【松井課長】

まちづくり推進課長の松井です。着座にてご回答させていただきます。

今、多田委員並びに藪上委員、江川委員からご意見頂戴した案件につきまして、町会費の還元につきまして、そもそも今回いただいているここの中身につきましては、区と地域とで町会加入アクションプランというのを今回区のほうでつくらせていただいたものを、どうやって、令和8年度、6年度から3年間かけて町会加入を進めていくに対してご意見を頂戴したというのがこの部会での内容になってございます。その中で各委員の方からご意見を頂戴したのが、本日、資料1に主な意見として書いていただいているところの部分が今回の意見ということになってございます。今、多田委員のほうから還元するということについて、町会費については使途の部分がいろいろあるのでということでご意見もいただいておりますんですけども、そのことを受けて藪上委員からも、そのことを踏まえてご意見を頂戴したところではございますが、基本的にはメリットを感じてもらうために還元するということをしてくださいということではなくて、手法としてこういうやり方もあるというふうなことをご意見としていただいたところでございます。その一つの手法として、江川委員から今おっしゃっていただいた、部会でもそういうご紹介を、子ども食堂なんかでいうたら目に見える形で、加入している人とそうでない人を分けてそういう取組もしていただいているということも、その部会の中ではご意見としては頂戴しているところでございます。

ですので、基本的には、まず区としては、今回いただいた意見について、まず各地域のほうに、部会でこういうことの意見をいただいたということを共有させていただいた上で、その中で、各地域、それぞれ取組についても皆さん一律ということにはならないので、いい取組については、ご意見をいただいた中身のものを取り入れていただく、あるいはそれに何かアレンジをして取り組んでいただくということを、区も一緒になって考えていきたいなと考えているところでございます。

あともう一点、まずメリット云々というより、これも部会の中でもご意見として出ておりましたけれども、役員に成り手がなかなかないということも課題であるということでおっしゃっておられたと思いますので、そういった役員の方々が、町会に入っている方が役員になっていただくようなことを、どういう形であれば皆さん一緒にやっていただけるような手法があるのかということも、また改めて地域の方々ともご意見を交わしながら、よりよい方法を見つけて進めていただければと考えているところでございますので、どうかよろしく願いいたします。

以上です。

【高野議長】

ありがとうございました。

それでは、引き続きご質問等、ご発言等ございましたら挙手をお願いします。

では、菱池委員にマイクをお渡しいたします。

【菱池委員】

私、友渕の福祉コーディネーターをしているんです。町会役員もやっていまして、こういう話は恐らくもう20年も前から、町会員が減った頃から議論されて、いろいろ皆対策を取っていると思いますけれども、なかなか効果が上がらないんです。

一番言われる町会加入のメリットなんですけれども、本来、町会費というものは事業をするためのお金でして、町会員が使うためのお金じゃないです。その事業に参加するのが一つのメリットだと私は考えています。さらに、役員をやって、災害時のボランティアと同じで、やった達成感を得られるのが一つのメリットだと思っています。だから、それを分らないのでメリットがない、さらに町会費を何に使っているか分らないというようなことが言われます。皆さん、町会に入って役員されるのは本当に嫌がるんですね。でも、やってみたらそれほど大したことではないんです、やった人は皆そんなふうに言います。それを、よそから見て、嫌だ、やりたくないという人がこういうことを言っていると思います。だから、取りあえず事業をして、事業に参加してもらって、町会に入ってもらおうという方向に行かなければ、絶対増えないように私は考えています。

【高野議長】

ありがとうございました。

それでは、谷副議長です。

【谷副議長】

淀川地域の谷です。

町会費のことなんですけれども、まず、町会費が何に使われているかというのは多分皆さん知らないと思うんです。街灯の電気とか公園の水道とか水光熱費は全部皆さんから集めた町会費から賄っているんですね。各連合単体で何町会とかもいっぱいあると思うんですけれども、その単体の町会によってはやっぱり町会費という金額も変わってきますし、単体の町会によっては、行事もやっている町会もあれば、全くやらない町会もあるので、それで、同じ地域に住んでる中でも、うちのところはメリットがないとか、うちはこういうことをしているよとかというのはあるんです。説明はするですよ。こういうことをしていますからどうですかと言っても、やっぱり年齢層が各町会によってもご年配の方が多かったりとかして、やっぱり役員に成り手がいないというのもあるんです。そういうのも含めて単体で考えるのはちょっと難しいかもしれないんですけれども、その地域の連合によっては全部の町会が集まって、町会費も振興町会に一回会費として集まるので、そこから盆踊り大会とか年末夜警とかいろんな祭りとか行事とかもさせてもらっていますので、全く還元されていないということはないと思うんですね。皆さんが知らない間にそういう地域の行事に参加しているだけであって、そういう集めた町会費を頂いて、そこから行事もされていると思うので、そういったことの認識も発信していったら一番いいんじゃないかなと思うんです。役員の成り手はちょっと難しいかもしれないんです。私ももう20年ぐらいやっているんですけれども、この間、地域の会議で来ていただいた方が、60代の方は若手なんだねと、うちの地域の校長先生が言っておられました。もう60代は若手ですという形なので。それでも、うちの地域では70代、80代の方も頑張って地域の行事にお手伝いしていただいています。やっぱり何かちょっとでも、こういう行事をしているのは町会費だよというのが伝わるような発信をしていただけたらいいんじゃないかなと思いました。

【高野議長】

ありがとうございました。

では、引き続きいかがでしょうか。

では、西委員、挙手されましたのでお願いします。

【西委員】

中野の西です。

中野でももちろん町会加入率はすごく低くて、それは多分加入費というお金の問題よりも、私ぐらいの世代のママ友たちから聞くのは、面倒くさいということをよく聞くんですね。よくやっているねと私なんてよく言われるほうで。皆さんそうですよね。でも、別に本当に、やったら、おっしゃられたよう

に、そんなに別に大変なこともないし、お友達もできるし、それはそれですごくいいことだと思うんです。どうしても私ぐらいの年代の人たちは役員をやりたくない、入ったら何か回ってくるよねという言葉がすごくよく聞かれます。

それでいて、ちょっと中野地域は、もともとそこまで活発ではなかったんですけれども、コロナ禍以降、どんどんいろんなことが衰退していついて、もう大丈夫かというぐらい。例えば、子ども会も、9町会あるうちの1町会ぐらいしか活動していない状態、全部休止している状態で、何もかも。正直、PTAも。中野小学校はPTAのほうも。結局、PTAも町会も同じような形ですよ。会費を払って活動して。PTAのときもそうだったんですけれども、やったら何か役をやらなきゃいけないよねと言って。でも結局、本当は、PTAというのは子どもたちにいろんなことを還元して、子どもたちのためにということをするごくしている。町会も、そこに住んでいる方のためにということをするごくしている、それをとにかく分かってもらわないことには、皆さんに伝わらない。多分町会費ってそんなに高いものじゃないじゃないですか。だから、皆さん別にその還元とか、得したいとかそんな気持ちよりも、面倒くさいことをやりたくない気持ちが強いので、そこを何とかポジティブに持っていけるように何とかしないと。中野町やばいというのは、中野町の私ぐらいの人たちでやっている人たちは、会うと常にそんな話をしている状態なので、それはもちろんほかの地域もそういうこともあると思うんです。どうしたらそういう活動をもっともっとしていけるのか。この高齢化過ぎる町会をもうちょっと年代を下げることができるのかというのを、それこそ役所の皆様から指南してほしいですし、皆さんとももちろん意見交換したいなと思っていて、本当にそうなんですと突っ込みたいことがいっぱいありました。

【高野議長】

ありがとうございました。

では、松井課長にマイクをお渡しします。

【松井課長】

まちづくり推進課長の松井です。

今、3人の委員の方からいただいていたところの共通するところでいうと、なかなか表面的な部分でいうと、面倒くさいであるとか嫌やとかというふうなことがあるんだけど、実際やってみたらそんなことがないということが今おっしゃっていただいたお話としてあります。それと、使途のところについても、結果的にそれがどういう形で町会費が使われているのかということすら分からないという現状というのを、やっぱりまずはその活動自身であったりお金の使い方ということがどうなのかということを知っていただくということをいかにやっていくかということ、前の部会するときにも区の情報発信というところについての取組という、分かりやすく情報発信が必要やというふうなこともご意見を頂戴しておりますので、本日いただいたご意見についても、まさしくやっぱり皆様にいかに知っていただ

くということを、区でいいますと広報誌は全世帯にお配りしておりますし、SNSで発信したりとかという、区としての取組としてはそういうこともできます。あと地域さんでいいますと、先ほども出ましたけれどもさまざまなお祭りを各地域でやっていただいていますので、そこで町会に入っていない方も参加される方もたくさんいらっしゃるというのもお伺いしておりますので、そういったイベントなんかも活用しながら地域の活動についての発信をあわせてやっていくということは、まずしていかないといけないのかなと考えているところでございます。

それ以外に何か新たにいい手法というのは、これは24区全部の課題になっていますので、他区ともそういういい取組事例なんかは共有するような形になっておりますので、もしそういう情報が得られましたら、各地域の皆様にもお伝えしながら、よりよく区民の皆様方に浸透していくような取組を引き続き続けていきたいと考えておりますので、どうかよろしくお願いいたします。

以上です。

【高野議長】

それでは、マイクをお渡しいたします。藪上委員です。

【藪上委員】

今の委員さんの話を聞いて思ったことなんですけれども、恐らく町会費を払いたくないというか、そのもっと根本の以前に、町会活動に消極的な理由って、確かに実際やれば思ったよりもできるじゃんとかと思うかもしれないんですけれども、私が思うには、やはり一度入ると、やるとなると、それなりに、例えば町会長になったりとかとなると責任というところもやはり出てくるので、そういったところのご負担をできるだけしたくないというところはあるのかなと思っています。あとは、各地域、各町会によって、ば一っと動いてくれる人がいっぱいいる町会もあれば、そうじゃない町会、地域というところも、やはりそれはまちまちなのかなというふうに思うので、ちょっとここはどうなのかというのを各地域で比較するというところは難しいのかなと思いました。

その上で、これちょっとすみません、各地域の方にもちょっとお伺いしたいんですけれども、例えば公園って、どの地域も公園と言われるところと児童遊園と言われるところとあると思うんですね。公園って多分基本的に大阪市が管理したりとか、都島区が管理したりというところだと思うんですけれども、児童遊園と言われるところって結構町会が管理をしているというところが多いんじゃないかなと思ってまして、例えばそういった児童遊園とかは町会で管理をしていると思うので、そういった児童遊園の管理だったりとか整備というところにもやはりお金が使われていますよ、町会費が使われていますよというところを、もっと区で発信をしていただくと、やはり若い人はそういったところを見て、そういうこともしているんだなというような気づきはあるんじゃないかなと思っています。

この話をしたのも、この間、うちの大東も、城北公園通の駅前に昔バスが置いてある公園があったん

ですけれども、あれは児童遊園なんですね。あれは実際に町会長さんが管理をしてはって、今年になってそのバスを撤去したんですね。やはりその撤去の費用も町会費から払われているものになりますし、もともとそのバスを集会所に使っていたというようなところもあった。結構都島って、公園と言われるところと、児童遊園と言われる小さい公園で、小さい公園だと結構きれいに管理されている、整備されている児童遊園もあったりするので、そういったところに使われていますよとか、もっと発信する側が分かりやすい発信の仕方とか、これだったら若い人とか、今町会費を実際払っていない人にも響くんじやないかなというような発信を心がけていただけたらと思います。

【高野議長】

ありがとうございました。

今、児童遊園の管理についてご発言がありました。自分たちの地域ではこのようになっている、あるいはアイデアがありましたらお答えいただければ幸いです、いかがでしょうか。

区側からも発信があればというご要望もありましたので、ユーチューブチャンネル等もされていると思うので、大きな公園もなんですけれども、児童遊園もつぶさに、こんなふうに町会の方がやっているみたいな発信とか、広報誌にも載せていただいたりとか、そういう取組もやっていくと町会の方もやりがいがあったりとか、また、そういう活動をやっているということを町会に入っていない方も興味を持たれたりするきっかけになるんじゃないかなと個人的には思いました。特にございませんでしょうか。

では、ちょっと時間も大分定刻よりも経ましたので、今の議題については全部町会についてになってしまったんですけれども、それでも構いませんし、この議題（1）については次の質問を一旦最後にしたいと思いますけれども、ご質問等ございますでしょうか。ございませんか。

それでは、一旦議題（1）については締め切りしたいと思います。この内容についてもなんですけれども、前の、私のほうまちづくり部会に参加させていただいたんですけれども、ご質問や特に疑問というよりも素朴な意見として、桜ノ宮駅近くにある砂利の採掘場みたいなのは、あれ何ですかという質問があって、私もあれ企業なのか何なのか分からなかったもので、区側の説明として、業者さんだと思われますが、ちょっと移転とかまでは進んでいなくて、委員からは、ちょっと駅に近いので、せっかくきれいな公園なのに、それが分断されてそぐわないんじゃないかというようなご意見もあったんです。それはどういった経緯であそこにあるのかというのは確認してまたお話ししたいという区側の説明もありました。結構みんなが気になっていると思うので、素朴な疑問でも結構いいかなと思ったので、積極的に皆さんにはご発言いただければと思いますが、町会についてのご質問等は活発にいただいてありがとうございました。

では、いったん議題（1）については締め切ります。

では、続いて議題（2）です。令和7年度事業の方向性について、事務局から資料2に沿ってご説明をい

たきます。お願いします。

【三井課長】

事務局の政策企画担当課長、三井でございます。座って説明させていただきます。

それでは、私から、資料2、令和7年度事業の方向性についてご説明いたします。

まず1ページ目、令和7年度事業の基本的な考え方ですが、引き続き、「幸せになれるまち、都島区」を目標として、下に記載しております安全・安心のまちづくり、人と人がつながり、助け合うまちづくり、明日に誇れるまちづくりを3つの柱とし、それらを支える形で窓口サービスの向上など、区役所力の強化を図ってまいりたいと考えております。

このページで区事業、方向性の全体像を示しておりますけれども、次の2ページから、区政推進の柱ごとにポイントを絞って記載しておりますので、そちらで詳しく説明させていただきたいと思います。

では、2ページ目をご覧ください。安全・安心のまちづくりですが、防災、防犯、安全で美しいまちづくりについて記載しております。現状・課題としましては、防災につきましては、啓発を行っているものの、避難所開設運営訓練等について、一部実施できていない地域があること。また、防犯につきましては、警察や地域と連携して啓発に取り組んだり、青色防犯パトロール車、通称青パトと呼んでおりますけれども、それによります巡回を実施しておりますが、区内の犯罪件数が増加していること。美しいまちづくりにつきましても、環境美化活動などを実施しておりますが、放置自転車やごみのポイ捨ては依然として発生しております。

その対策として、右側、事業の方向性で、防災・防犯意識を高める啓発や防災教育の推進、また、効果的な情報発信に取り組むこととしております。具体的な取組案としましては、防災では、高齢者や子育て層などへの啓発や、地域の避難所開設運営訓練に取り組むこととしております。防犯では、青パトによる巡回や、警察、地域の方々と連携した防犯啓発、様々な媒体での防犯情報の発信などに取り組むこととしております。また、美しいまちづくりでは、都島クリーン作戦を新たな方法で取り組むとともに、環境美化活動や夜間の環境啓発活動、放置自転車啓発活動など、地域の方々と連携して取り組み、安全に通行できる美しいまちをめざすこととしております。

ページ下のほうには、具体的な取組につきまして、写真と共に例示しておりますので、ご参照ください。

次に、3ページ、人と人がつながり、助け合うまちづくりです。この項目には、地域コミュニティの推進や、生き生きと健康に暮らせる福祉のまちづくりなど、幅広い内容が含まれておりますけれども、中でも近年、子育て支援についての必要性が高まっておりますことから、その内容を掲載してございます。

まず、現状と課題ですが、現状として、健診、訪問、イベントなどを通じて育児相談の機会を増やし

たり、発達障害などにより支援が必要な児童生徒やその保護者への支援を行うため、臨床心理士など専門職を配置して相談体制の充実を図っております。

右側、事業の方向性ですが、引き続き、子育てに関する相談対応や情報提供などにより育児不安の軽減を図ること、臨床心理士等の配置や研修等により、発達障害や不登校等への対応を支援することとしております。具体的には、取組案で記載しておりますように、身近で相談できる場所として子育て支援室や子育て支援施設の情報を発信することや、臨床心理士等による福祉相談、支援関係者・保護者を対象にした発達障害に関する研修等を実施し、発達障害や不登校などの課題を抱える児童生徒やその家族への支援を行うこととしております。

下の写真は、子ども・子育てプラザで開催している子育て相談会の様子ですが、相談支援員がおおむき、相談しやすい環境づくりに努めております。

次に、4ページ目、明日に誇れるまちづくりですが、魅力あるまちづくりにつきましては、自然環境や歴史文化などの区内の魅力を十分に活用できていないこと、また、新たな魅力の発掘や情報発信の不足を課題としております。昨年度の区民アンケートの結果を掲載しておりますけれども、さらに区に愛着や誇りを持っていただけるよう施策を推進する必要があります。

下に事業の方向性などを記載しておりますが、川沿いの自然環境を生かしたにぎわいづくりなど、魅力の創出・発信を行い、区の魅力向上や我がまち意識の醸成を図ります。具体的には、水辺などの区内の魅力スポットでのイベントなどを通じて、魅力の創出・発信を行うこととしております。

次に、まちづくりビジョンの策定についてですが、現状と課題として、大阪市や京橋駅周辺の事業者などで構成されます京橋駅周辺地域部会におきまして、今後のまちづくりを検討されていること、また、淀川河川沿いでも、万博を契機に様々な主体がイベント等を実施していることから、それらを踏まえ、区としても長期的な視点で区の将来像を示し、より戦略的に施策を展開する必要があります。

事業の方向性に記載しておりますとおり、今後のまちの長期的な変化に対応し、より戦略的な施策展開を行うため、長期的な視点での区の将来像を示す都島区まちづくりビジョン（仮称）を策定し、今後のまちづくりにつなげます。具体的取組案としては、都島区まちづくりビジョンの策定に向け、調査検討等を行うこと、また、淀川河川公園などの淀川沿いにおける地域魅力を発信するイベント等を実施します。

次に、大阪・関西万博の機運醸成です。来年4月13日には万博が開催されますが、中ほどのグラフにありますように、昨年度実施した区民アンケートで、万博に行きたいかという質問に肯定的に答えられた方が51%となっております。これまでも、機運醸成を図って、みやこじま未来EXPOと銘打ち、各種イベントでのぼりやパネルの設置などを行ってまいりましたが、来年度も引き続き、特に万博開催期間中、区民や来街者に対し機運を高める取組が必要です。

事業の方向性としましては、多くの区民や来街者に向けて万博をPRするとともに、来訪した外国人に対して観光資源を発信し、より多くの誘客につなげることをしており、取組案として、万博をテーマとしたシティードレッシングを行うこと、また、外国人向けの京橋タウンガイド、周遊ガイド等を作成し、滞在中の満足度を高める取組を行います。

右側の未来の都島を担う人材育成ですが、令和5年度の調査結果にありますように、小学生へのアンケートで、嫌なことや悩んでいることがあるとき、誰にも相談できない、したくない、また、ふだん放課後一人でいるという割合が市の平均より高く、子どもたちの支援が必要な状況がうかがえます。

そこで、事業の方向性、取組案に記載しておりますように、学校や地域団体等とも連携して、学習支援も行う子どもの居場所づくりを推進することとしております。現在も、下の写真にありますように、各小学校区に一つずつ、学習支援や悩み相談を行う居場所を設置しているところです。

次に、6ページ、区役所力の強化、区民の声が区政に反映される仕組みづくりにつきまして、現状と課題として、2つ目のポツのところですか下のグラフにも示しておりますとおり、広報誌は区民にとって非常に重要なツールとなっておりますけれども、一方で区のホームページやSNSの活用は合計20%と低く、魅力的でタイムリーな情報発信を行う必要があります。その対応策として、取組案に記載のとおり、広報誌の記事に二次元コードを併記し、区ホームページに連携すること、区ホームページやX、LINEでの発信をより利用者目線に立った魅力的・効果的なものとするなどに取り組んでまいります。

以上のように、令和7年度につきましても様々な課題解決を図り、引き続き取組を進めていくこととしております。

なお、参考資料1として、令和6年度、今年度の予算事業一覧を掲載しておりますので、ご参照いただければと思います。

説明は以上でございます。よろしくお願いいたします。

【高野議長】

三井課長、ありがとうございました。

今、議題（2）令和7年度事業の方向性について、事務局から説明がありました。今の説明などについて、ご質問、ご意見等ございますでしょうか。議題（1）と同じように挙手でお願いいたします。また、ウェブ参加の花田委員も挙手していただければ。

では、まず岡本委員、挙手されましたので。

【岡本委員】

万博のアンケートなんですけれども、この51%というのはどういうものなんですか。多いというんですか。どういうものなんですか。

【高野議長】

では、三井課長、お願いします。

【三井課長】

政策企画担当課長、三井でございます。

51%の数字が絶対的に見てどうかとか、相対的に見てどうかという部分は、実は評価、比較はできていないところなんです。このパーセンテージを5年度、6年度、7年度の取組で高めていきたいと考えてございます。比較的知名度はかなり高うございますけれども、行きたいという方、具体的な中身をあまりご存じない方も多うございます。現状でいいますと比較的いい数字なのかなと思っているんですけども、これをさらに高めて、皆さん万博に行きたいと思っていただけるように発信していく必要があるかと思っております。

以上でございます。

【高野議長】

では、花田委員が挙手されていますので、ご発言をお願いいたします。

【花田委員】

花田です。よろしくお願いいたします。

私からは、安全・安心のまちづくりについて質問させていただきたいと思っています。

まず、防災につきましてなんですけれども、事業の方向性のところで防災教育の推進に取り組むと書いていただいているんですが、具体的に予算事業一覧等ではその部分というのがちょっと見えなかったもので、どのような具体的な防災教育、どのような方を対象にどのような内容を考えておられるのかという質問が1点です。

2つ目が、防犯のところの現状・課題に区内での犯罪発生件数が増加と書いてありまして、非常にここが気になっているんですが、どのような犯罪が増えているのかというところと、それに対して取組案として出されているところがうまくマッチしているのかというところを確認させていただきたいと思ひまして質問いたします。よろしくお願いいたします。

【高野議長】

では、まず防災について、区側からのお答えがあります。お願いします。

【中尾課長】

防災地域活性担当課長の中尾です。着座にてご説明申し上げます。

今、花田委員からご質問2つございました。まず防災なんです。防災教育ですね。今はまずは小学校と中学校を中心に、防災教育という形で事業のほうを進めております。具体的には出前授業、あるいは防災授業という形で、多くは学校あるいは地域からの主催で、区役所がそこに防災の知識であるとか技術などのサポートをしているという形でございます。特にこの防災授業等を行っている中で、今後、せ

んだっての区政会議のご意見でもあったんですが、どんどん地域の防災の担い手をつくっていく方法はないだろうかというご意見がございました。その上で、これは来年度から取り組んでいこうということで今ちょっと計画を練っているところではあるんですけども、ジュニア防災リーダーというような免許を、あるいはキッズ防災リーダーみたいな形で、大阪市内でも幾つかの区が既に取り組んでいる内容ではあるんですけども、これを当区でも取り入れていきたいと考えております。そして、成人の場合は地域防災リーダーというのがございますが、それとニアリーな部分もありますが、教育的観点も含めて取り組んでいきたいと考えております。

次に、防犯の犯罪発生件数が増えているというところなんですが、これは大阪府警のホームページで実際に区別でも発生状況が公表されています。都島区で特にここ近年増えているのは特殊詐欺ですね。これが令和5年では1月から12月で27件あったんですけども、今年は9月末時点で37件ということで、まだ年が終わっていないんですが、もう既にそれぐらい増えているということ、今、本市の市民局ともあわせて、特殊詐欺、電話がほとんどなので、通話を録音できる機械を無料で貸与するという事業を行っています。これを都島区役所のまちづくり推進課の窓口、都島警察の窓口、また郵送でも申込みができる形で。これは65歳以上の方が対象にはなっているんですけども、貸与するという形で、現在都島区でも300件以上は貸出しをしている状況でございます。このような形で発生状況も増えている、特殊詐欺が一番増えているというのをご報告申し上げます。

以上でございます。

【高野議長】

ありがとうございました。以上のようなご返答でした。花田委員が引き続き挙手されていますので、ご発言をお願いします。

【花田委員】

ジュニア防災リーダーについては大変期待しておりますので、ぜひ、他の区なんかの事例も参考にしながら当区でも進めていただけたらと思っています。

あと、特殊詐欺については、ぜひ、警察はもとよりなんですけれども、金融機関やコンビニなどと連携して、本当に実質的な連携をして未然に防ぐというところもあわせて、教育、広報だけではなくてお願いできたらと思います。

以上です。よろしくお願いいたします。

【高野議長】

ありがとうございました。

では、ほかに。では、江川委員にマイクをお渡しします。

【江川委員】

2点あるんですけど、まず1点目は安全で美しいまちづくりなんですけど、夜間の環境啓発活動、放置自転車啓発活動とあるんですけども、放置自転車は勝手に業者が持っていくので、どちらかといえば京橋というか都島区の問題なんですけど、商店街の中を自転車が走るの、あちらを取り締まってほしいんですね。そちらのほうが断然危ないんです。この前のハロウィン、週末に商店街でやっても、そこに自転車がどんどん走ってくるような状態なので。11月1日からお酒が厳しくなるので、携帯を持っていたらそれだけで30万とか罰金になるので取締りがあると思うんですけど、放置自転車よりも、自転車に乗って商店街を走るとか飲酒運転ですね。酒気帯びか。そういうほうをやってほしい。商店街の近くに住んでいる人間としてはそれを思います。

もう一つは都島区まちづくりビジョンなんですけど、これは、私自身もまちづくりの一般社団法人をもう10年以上やっているのによく言われることなんですけど、京橋の区としての方針ですね。京橋地域の商店街というかお店を盛り上げるために、人が増えるのを求めているのか、結局はそれ以外の9割、ほかの人が、住民もおるから、そっちのほうのビジョンもあると思うので、天神祭がいい例なんですけど、結局人が増えるとまたごみが増えたりとかそういうことで嫌がる方も結構おられるのが事実なんです。私自身もまちづくりでイベントとかをやって人を集めたら、それを嫌がる人とか、そういうのを言われることがあるので、これやったらどっちも書いていて、結局、まちを盛り上げようとしているのか、人が増えたら安全・安心がまた変わってくると思うので、その辺のビジョンがどっちがどっちなのかよく分からなかった。まちがある区やから余計に難しいのかもしれないんですけど、その辺がもうちょっと見えたほうがいいかなと思いました。

以上です。

【高野議長】

では、今のご質問、ご指摘に対してお答えをお願いします。

【中尾課長】

防災地域活性担当課長の中尾です。

江川委員からございました放置自転車対策よりはというところの取組なんですけれども、放置自転車の対策につきましては順次建設局とも連携をして取組を進めておりまして、実際、撤去の数も減ってきている数字が出ています。なので、昔に比べると放置自転車は減っているのだなというところはあるんですが、まだまだ現状は厳しい部分もあるかと思います。江川委員からのご提案といいますかご意見につきましては、なかなか本市単独では難しい部分もあるのかなと思うところでございまして、引き続き交通安全ルールを守るという点に関して申し上げれば、これからしっかり警察等とも連携を取りながら交通安全のキャンペーンとかも展開していきたいと考えておりますので、どうかよろしくをお願いします。

以上です。

【西山課長】

政策企画担当の西山でございます。

まちづくりビジョンについてお答えを申し上げます。まちづくりビジョンに関しましては、京橋地区という一部の地域ということだけではなくて、都島区が将来にわたってどういうまちになっていけばいいか、区の特性を生かしたまちづくりということを取り組むために、まだ方向性が定まっていないといったことから、中長期的な視点でまちの課題を明らかにしつつ、目標とする将来像を定めて、その実現に向けて施策、事業などを戦略的に展開していくための指針ということで策定してまいりる予定でございます。

以上でございます。

【高野議長】

ありがとうございました。

ほかにご質問、ご発言等ございますでしょうか。

藪上委員にマイクをお渡しします。

【藪上委員】

藪上です。

資料2の一番最後なんですけど、区民の声が区政に反映される仕組みづくりというところについてお尋ねしたいと思います。

現状なんですけど、区のホームページだったりとかXとかフェイスブックとかは多分都島区で発信されているのかなと思うんですけど、LINEとかでは発信ってされていなかったつけ。なかったでしたつけ。されていますかね。すみません、じゃ、私がちゃんと見ていなかっただけなのかなと思うんです。先日、他の区の港区だったか城東区だったかのユーチューブのチャンネルを見ていると、例えばこういう区政会議の様子とかも全部アーカイブで発信されているんですね。やっぱりそういういろんなアーカイブとかを発信されているので、区政会議に限らずいろんな行事のアーカイブというところを結構発信されているのかなと思っています。例えば都島区であれば、この区政会議もそうなんですけれども、区民まつりとかも非常にほかの区よりも結構大きいボリュームで開催されていると思いますので、そういった様子であつたりとかというところも積極的に発信をしていただきたいなと思っているんです。この事業の方向性、取組案で、具体的にどのような形で来年度取り組んでいくのかというところもあわせてお伺いしたいなと思っております。

【高野議長】

では、三井課長、お願いします。

【三井課長】

政策企画担当課長、三井でございます。

発信につきましては、今ご指摘のことを踏まえまして進めていきたいと思うんですけれども、ちょうど6ページの右下ですね。広報みやこじまに記事も載せていますけれども、昨年度から各区で持っていたLINEを大阪市で一本にまとめまして、その中で、各カテゴリーで選択できるようになってございます。また、お気に入りの分野、防災だったりいろんな分野につきましてもカテゴリー選択して選ぶことになっておりまして、都島区としてもこちらの市の公式LINEの都島区のカテゴリーの中で発信していらっしゃるとうございます。

あと、ユーチューブなどでのアーカイブ発信ですね。都島区でもインスタグラムを使ってビーチのイベントとかいろんなイベント事につきましては発信していらっしゃるんですけど、この区政会議でいいますと、今ライブ配信をしております。各区も、ライブ配信もしくはアーカイブで発信となっております。当区は現状ライブ配信をしているとうございます。そのほかの行事につきましてもアーカイブで発信して、区民まつりも当区は非常に参加の多い行事となっておりますので、そういったところの発信、アーカイブ化も今後検討させていただきたいと思いますので、引き続きよろしくお願いいたします。どうもありがとうございます。

【高野議長】

ありがとうございました。

では、谷委員です。

【谷副議長】

淀川地域の谷です。

都島区まちづくりビジョンについて、川沿いの件ですけれども、今年にリバーフェスをすると言っていて、結局雨天で中止になったと思うんです。そちらの事業も止まってしまっていて、結局、桜ノ宮ビーチでイベントが全部止まっているので、これからもっと向こう側の淀川、毛馬閘門のほうの川もイベントをしていこうということと、あそこでもバーベキューとかいろんなスポーツができるんですよということを広めていきたいと言っていたと思うんです。今年の初めに。去年の9月ぐらいから提案があって、進めて、3月のが中止になって、それはまたしますというお話だったんですけども、ちょっといろいろと行事が立て込んであれだったのかもしれないんですけども、それは今後もずっと続けていくとうか、まだ計画の中では上がっているのでしょうか。それとも、もう消えてしまっているのでしょうか。それをちょっと聞きたいなと思って質問させていただきます。

【高野議長】

どうぞ。

【西山課長】

政策企画担当課長、西山でございます。

本年3月に予定しておりました淀川リバーフェス、残念ながら雨天中止となっておりましたけれども、今年度につきましても、今のところ来年3月中旬、万博の機運醸成も兼ねまして、1か月前の3月13日前後の日程で、淀川リバーフェスという名称になるかどうか分かりませんが、イベント的なものを予定するべく、現在、公募プロポーザルの業者を選定して進めていく手はずになっております。

あわせまして、一過性のイベントに終わるということではなくて、今、谷委員からもありましたように、近隣する該当地域の将来のまちの魅力アップ、あるいはまちづくりに資するために、来場者の方を中心にアンケートや分析を行いまして、まちづくりにどういうふうに資していくように将来的にしたらいいのかということもあわせて分析も行うことで現在事務を進めているところでございます。

以上でございます。

【高野議長】

ありがとうございました。

時間等がちょっと迫ってきていますので、お忙しい中ご出席いただいているので、ご質問でなくてもいいんですけども、本日、意見、質問等を聞いていただいて、ご感想でもいいので、ちょっとマイクをお渡しして、一言ずついただきたいんです。よろしいでしょうか。

では、まだご発言がなかった西都島からの山野委員、恐れ入りますが、ご感想、どんなことでも願います。

【山野委員】

途中、町会費の話が結構されていましたが、ちょっとそのときお聞きしていて思ったのが、私が住んでいる町会も、町会費を何に使おうかみたいなのところがあって、町会費が集まりにくいというよりは、集まった町会費をどう使おうかというところがなかなか決まらなかったです。コロナ前はいろんなイベントとかもやっていたりだとか定例のイベントでやっていて使い道があったんですけども、先ほども一部あったかもしれないですけども、コロナでいろんなイベントが中止になって、ただ町会費は集まってくるという中で、毎年繰り越しているような形が多かったです。たまたま私が住んでいる町会はそういう企画するバイタリティーがある方がいらっしゃったので、何か新しいことをやろうというところから始めて、二、三年ぐらいやっているんです。ちょっと思ったのは、どの町会もそういうような引っ張っていく方がいらっしゃらないということが多いんじゃないかなというところで、町会費はあるけれども、どういうふうに使えばいいか分からない。まずアイデア出しの部分はどうするかということと、具体的に企画する人がいないんじゃないかというところが結構あるんじゃないかと思っていました。

なので、西都島とかそういう地域でイベントはできるんですけども、もうちょっと小さい単位でというイベントをやっていくかという案の各町会の共有というところと、あと、毎年やっていくんだとしても、最初の軌道に乗るまでの企画を支援してくれるみたいな、そういう組織というか施策があってもいいのかなと私は思いました。

以上です。

【高野議長】

では、ご回答がありますので。松井課長からです。

【松井課長】

まちづくり推進課長の松井でございます。

今おっしゃっていただいていたアイデアとか、引っ張っていくというふうな中身とか、小さい単位でイベントが実施できたらなというところの支援というか、誰かがそういうところに間に入っていていただくという取組の一つとして、区に相談していただければ、西都島さんもそうですし、大東地域でもそうですけれども、そういった支援をする一つの方策みたいなものがございます。一定そういう支援する方々を派遣して、どんなことをやっていきましょうかというふうなことをやる取組もございます。また、うちの区にまちづくりセンターもございますので、そこにも気軽にご相談していただければ、区も一緒になって、何かいいような手法ができるのかどうかというのは地域の皆さんともお話ししながら進めていきたいと思いますので、もしそういうご要望がありましたら、ぜひ言っていただければと思います。よろしくお願いします。

【高野議長】

では、お隣、高倉地域の浦出委員、お願いいたします。

【浦出委員】

高倉地域の浦出です。いつもありがとうございます。

私は全体的な感想なんですけれども、いつも思っていますが、今日もお話聞かせていただいています。都島の区民のためにこんなにたくさんの政策、いろいろ心をかけていただいていること、とても幸せだなと感じまして、都島区民、幸せだなと思いました。この思いを、本当に町会にたくさん入っていただいて皆さんに伝わったらいいのと思いました。ありがとうございます。

【高野議長】

ありがとうございました。マイクをお預かりします。

では、こちら側に行きまして下影委員ですね。マイクをお渡ししますので、お願いいたします。

【下影委員】

内代の下影です。

お願いになるかもしれないんですけども、SNSの活用のところで、多分、今、LINEで見るのは見るだけのものが多いような気がするんです。こっちから例えば、多分町会とかも含めてそうなのかもしれないですけども、基本的に町会もボランティアで運営されているんだと思うんです。そのボランティアを集める仕組みをそういうSNSとかを活用して集めるような形というのは現状取れるんでしょうかというのと、多分ここに来ている人もボランティアで来ているのもありますし、そういうボランティアをしたいという人を、もちろん皆さん町会を集めるときには人海戦術で集めていると思うんですけども、逆に空中戦になるかもしれないんですけども、そういうSNSやネットを通してやりたいと。ただ、声を上げる手段がないという意味をうまく酌み取って、SNSを活用してうまく集めてくるというような手段ももしかしたらできるのかなという気がするので、LINEでお友達登録でグループLINEをつくるようなものなのかもしれないですけども、そういうものもできることなら活用していただけるといいなというのが一つです。そういう中で、例えば地域の防災リーダーの募集でも何でもいいですけども、そういうような形で集める方法というのも取れないかなというのを一度考えていただけるとありがたいと思いました。

以上です。

【高野議長】

では、松井課長、お願いします。

【松井課長】

まちづくり推進課長の松井でございます。

今おっしゃっていただいていた町会の行事なんか、イベントとかそういったところのボランティアを集める仕組みについてということなんですが、今現時点でそういう取組について、先ほどもちょっと申しあげたうちの区から委託しているまちづくりセンターというのが区の組織の中にあるんですが、各地域のところの支援にそのまちづくりセンターの職員が回っておりまして、そこで、イベントするのにちょっと人が足りないというふうなご要望をお聞きしたときには、そのまちづくりセンターのフェイスブックを使って、こういう取組に今ちょっとボランティアを募集していますということを発信したりとか、あるいは紙でもそういうチラシを四半期ごとにつくっているんですけども、それも地域のほうにお配りしたりとか掲示板に貼ったりとかということの中の一つの中に、地域さんで例えば少年野球のチームと一緒にボランティアをやってくれる人が不足しているので誰かいませんかとかという、全ての声を拾うというのはなかなか難しいですけども、地域さんからそういったご要望があったときにはできる限り発信をするような取組というのは、今現時点では行っているというのが実情でございます。

加えまして、今おっしゃっていただいたところで何かもっと広げる仕組みができないかどうかについては、ちょっとまた持ち帰って、できる範囲で検討していきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

します。

【高野議長】

ありがとうございました。

では、おしまいに屋宮委員、お願いします。

【屋宮委員】

屋宮です。

今日ちょっと思ったのが、全然関係ないんですけども、一番最後の区役所から情報を入手しているツールというので、やっぱり低い値になっているのがSNSとかホームページとかがなっているなというのは思いました。例えば官公庁とか区役所とかお堅いところのアプリとかインターネットサービス、例えばマイナポータルとか、使っていて物すごく分かりにくい。そういう区民サービスのシステムみたいなのがちょっと分かりにくいなというのがすごく。便利にしようとしているのは分かるんですけども、もっと分かりやすくしていただければ、もっと区民が区役所が発信している情報をキャッチすることができるのかなと今日は思いました。例えば、町会のあれにしても、町会アプリみたいなのをつくっていただいたりとかして、加入した人同士でアプリを通じて意見交換したりとか、位置情報を確認したりとか、区民がもっと区役所のシステムを通してつながったりできたら、区民同士もつながりやすいし、区役所からの情報も得やすい。例えばタクシー券がお年寄りに発行されるとか、そういうお得な区民に対するサービスというのが私たち受け取りづらいんですよね。聞いたら、塾助成金があるとかいろんな助成金があるとか聞くんですけども、どうやってそこにアクセスしたらいいとか、そういうのがすごく難しいし、それを受ける資格条項とか、そういうのを調べるのとかが結構大変やったりして。なので、もうちょっと分かりやすいアプリとか、私たちが気軽に情報にアクセスできるようなツールを。マイナポータルはちょっと難しいので、もっと簡単にしたような、区役所ポータルみたいなアプリとかをつくらせていただいたらありがたいかなとちょっと思いました。

以上です。

【高野議長】

では、お願いします。三井課長。

【三井課長】

政策企画担当課長、三井でございます。

ご意見ありがとうございます。まさにおっしゃいますとおり、区民の方に使いやすい、分かりやすい情報発信が必要でございます。今、ホームページにしましても、マイナポータルなど、あと行政オンラインシステムとか、区役所のほうですぐになかなか変更できない部分もございますけれども、区役所のできる範囲を、まず、SNSの発信を分かりやすくタイムリーに発信させていただくとか、また、大阪市だ

ったり国等が提供しているそういうシステムにつきましても、区民の方、市民の方が使いやすい仕様にするような要望も上げていきたいと思います。

また、アプリのほうも、運用していくには一定の費用等も要かと思いますが、そういった点につきましても、どのような情報発信であれば区民の方が使いやすく、また、先ほどおっしゃっていただきましたタクシー券の関係とか塾代助成とか、そういったサービスの点、アクセスしやすいかというのを研究していきたいと思います。どうもありがとうございます。

【高野議長】

ありがとうございました。

少し時間のご都合がありまして、積極的なご質問、そしてアイデア等ありがとうございました。また、急なご感想等のお願いに応じただきまして、ありがとうございました。

それでは最後に、本日ご出席の議員の皆様から、お忙しい中ご出席いただきました。コメントをいただいきたいと思います。

では、マイクをお渡しします。まず、市会議員の大西議員からお願いします。

【大西議員】

皆さん、毎回、活発な意見ありがとうございます。これ市政に生かしていただきますので、またよろしくをお願いします。

私からは、先ほど多分あったまちづくりビジョンをちょっとお話ししようかなと思っています。

今、近くの京橋のコムズガーデンが予算つきまして、今ちょっと都市整備公園という形できれいにしています。下も民間の方が大分やってくれます。民間との連携できれいにお店もやってくれますので、それが大体、今10月1日から閉まっていると思うんですけれども、25年春、万博をめざして多分どんどん京橋が変わっていくということです。それに伴って客引きも、今、北新地とうちの京橋なんですけれども、22時以降の巡回もちょっと考えようかなというのを議題にも挙げています。そうすることによって、お隣の城東の森之宮の公立大学のキャンパスができますので、市長も言っているように波状線上に何とか開発を進めていくというのを今やっています。あと、自動運転バスもその周りを走るということで京橋にも来ますので、1年の期間なんですけれども、モビリティタウンというのが情報発信されていますので、大阪メトロがやっていますので、これも大阪城をぐるっと回って京橋に行くという形にしていると思うので、こういう形で今、2025年の万博を契機に少しずつ京橋が変わってくるということでございます。

そして、先ほど言った商店街、藪上さんもそうですし江川さんもそうですけれども、今結構大東商店街が活性化プロジェクトという形で指定されていまして、すごく支援を受けていまして、この前もイベントをやってもらっていますし、今度もガレージイベントもやってもらいますよね。そういう形で民間

と市が連携したプロジェクトも進めていきますので、楽しみにしといてくださいということでございます。

そして、先ほど言った客引きも適正重点化地区になっていますので、次は重点地域になるかな、条例制定できるかなというところを今めざしてやっていますので、よろしくお願いします。

私から以上です。ありがとうございました。

【高野議長】

ありがとうございました。

続いて、荒木議員、お願いします。

【荒木議員】

荒木でございます。

委員の皆様には長時間にわたりまして活発なご議論ありがとうございます。皆様方のテーマの中心が、どちらかというといわゆる地域振興会、町会の関係がやはり一番皆さん懸念されているのかなと聞き及んでいるところでもございます。町会の関係といいますと、自分自身は10年前、こちら側の区役所側で答弁する側におりましたので、いろいろ申し上げたいこともあるんですが、こういう場でございますので発言は控えておきたいなと思っておるんです。やはりこれから先、地域振興会、町会というのは、地域のコミュニティーであり、福祉とコミュニティーの中核をなすものだというふうに考えていますので、このあり方についてはやっぱり活発な議論をいただくとともに、行政の側もしっかり啓発いただいて、組織のあり方とかその必要性というのをやはり地域の方に十分理解いただかないと、町会費の問題であったり、役員の問題であったり、事業そのものになかなか参画もいただけないかなと思っております。地域の皆様の努力というか、汗をかいていただく部分もあるかなと思いますが、それ以上にやはり行政がしっかりそれをサポートする。いつとき行政がそのサポートを控えたような時代がございましたので、その辺がやはり過去の経過の中で大きな問題があったのかなと今考えています。

いずれにしても、この都島のまちづくりを進めていくために中心になるのは行政ではなくやはり地域の皆様だということを根底に置きながら、まちづくりであったり地域のコミュニティー、福祉を向上していただくようお願いしてまいりたいと思っておりますし、我々はそのような地域の皆様の声を聞いて、議会だったり行政に反映できるように、様々な皆様のご要望なりお考えをお寄せいただいたものを行政の場に、議会の場へ持っていきたいと考えておりますので、何かございましたらご遠慮なくおっしゃっていただけたらなと考えております。

あともう一つだけ、すみません、時間長くなって恐縮なんですけど、桜ノ宮ビーチは本当に今砂場がある大阪市内で唯一のエリアになっております。中野地域の皆さんはよくご存じかと思うんですが、他の地域の皆さんは、ああいうビーチが急にできたような感じでお考えになっているかもしれませんが、桜

ノ宮の中野の地域は、もともとあの河川の一帯、不法占拠されておった時代が長うございました。その中で、府と市が全く連携が取れていないようなことをよく行政的には言われるんですが、あのエリアは大阪府と大阪市が本当に連携しながらエリアを開発していった。不法占拠は大阪府が撤去していき、そして河川の整備の分については大阪市がやっております。我々、あのビーチができた頃、ここがいわゆるビーチバレーの聖地になるような感じで位置づけ、活用されればありがたいなと考えておりました。今ちょっとされているのかどうか分からないんですが、オープン当初、何年間はそのビーチで割に大きな大会がありましたので、できれば、今されていないのであれば、再度そういうビーチを使ったビーチバレーの大会なりを誘致いただけたらなというふうに思っております。感想といいますか、私からは以上でございます。

【高野議長】

ありがとうございました。大西議員、荒木議員にコメントいただきました。大阪市会議員のお二方におかれましては、お忙しいところ今日も出席いただきました。大西議員、荒木議員、どうもありがとうございました。

それでは、都島区藤岡区長から挨拶をしていただきます。

【藤岡区長】

委員の皆様、長時間本当に貴重なご議論ありがとうございました。また、議員の先生方も示唆に富む、この後の大阪市の方向性も含む話を頂戴しましてありがとうございました。

今日は本当に意見交換、多くの情報共有、そしてアイデアを頂戴いたしましたので、引き続き皆様と共に一緒にできることを考えながら進めていきたいというふうに思っております。

意見の中で様々なございました中で、特に情報発信というテーマがあったかなというふうに思っておりますが、少し大阪市の方向性として、大阪市はDX推進ということを今進めていっております。その中で、Re-Designおおさかということで、先ほども委員の方からご意見ございましたけれども、届きやすい情報発信、そして、すぐたどり着く情報発信ということを目指して大阪市のほうも計画を持って進めていっているところでございます。我々もそれを待つことなく進めて、SNSの発信等々、今日いただきましたご意見も踏まえて進めていっているところでございます。

先ほど、特にやはり地域の取組について皆さんに気づいていただく機会をつくりたいということで、今月の情報誌の中でもご披露しているんですけども、都島区では本当に人、そして場所を使ったさまざまな活動を皆さんいただいているというところでございますので、それをひと×まちFileという形でまちづくり推進のほうでまとめた情報としてアップデートを続けております。そちらも見ていただきながら、いろいろと今後も皆様のご活動を私たちも受け止めながら区政推進を進めてまいりたいと思います。引き続き、どうぞよろしくお願いいたします。

本日は本当にありがとうございました。

【高野議長】

ありがとうございました。

これで、本日予定していました議題につきましては終了となります。皆様のご協力により本日も議事が円滑に進みましたことをお礼申し上げます。

それでは、司会進行を事務局にお返しします。

【吉村課長】

本日は、議長、副議長をはじめ各委員の皆様方におかれましては、長時間ご議論いただきまして誠にありがとうございました。

以上をもちまして、令和6年度第2回都島区政会議を閉会させていただきます。

また、再度のご案内になりますが、区政会議に関するアンケートについて、本日ご持参いただいている方は出口にて回収させていただきます。ご持参いただけていない方につきましては、お手数ではございますが、机上の評価シートにご記入の上、提出いただきますようお願いいたします。

本日は誠にありがとうございました。大変お疲れさまでございました。